

新宮山彦ぐるーぶ第2322回

### 補給路拡幅用の土留板作りなど

◇実施日 9月19日(木)

晴

◇参加者 梶野照雄

1名

9月15日に大勢で拡幅工事を行ったので、ストックの板や杭が無くなってしまった。資材が無いと次の工事に支障があるので板作りに行仙宿に向かった。同時に児嶋さんが取り付けたフィルターの水漏れを止める作業も行った。



コックにテープを巻く

水漏れは止まった

フィルター全景

登山口に着き、水漏れの激しいコック部分を外す。外してみるとコックの外径とホースの内径が大きく異なり、いっぱい差し込んでも1mmくらいの隙間ができる。持ってきたテフロンテープを全部巻

いて取り付けてみた。どうか水漏れは止まったが、もう少し厚めに巻いたほうがよさそうだ。水漏れの修理を終え、チェーンソーを一台積んで登る。第一ベンチ下付近でモノレールを止め、付近の間伐材から直径が15cm以下のものを探し150cmの長さに切った。



間伐材を集める

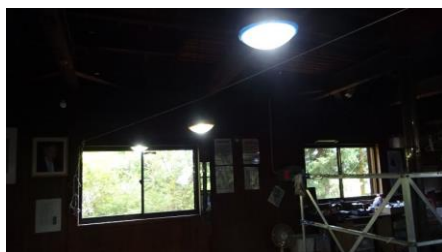
積み込んで降りる

板に切る

180cmか210cm位は欲しいところだが、重くなってモノレールの荷台に積みにくかった。12本ほどをモノレールに積んで登山口に戻る。荷台から丸太を降ろすところでお昼前になり、昼食を手早く済ませた。食後、板作りを始める。4〜5枚切ったところでジープが一台通り過ぎた。5分ほどで戻ってきたが、以前にもあったことがある電源開発橋本事業所の人だった。チェーンソーを止めてしばらく話す。22番から24番鉄塔の間に落雷があり、補修工事を予定しているそうだ。林道は川島橋の下の崩れで車が通れない状況だったらしい。

電源開発の車を見送り、再び板作りを始める。細いものは3枚、太

目のものは4枚に切った。20枚ほどの板ができたのでモノレールに積んで終点を目指す。コジマハウスに板を立てかけ小屋に向かった。



コジマハウスに収納

行仙宿に着く

照明のチェック

行仙宿に着いて、小屋の内外を点検。トイレのチェック、照明の確認を行ったが異常は見られなかった。5分ほどで蚊帳を離れる。板を一枚担いで降り、途中の岩場にう回路を設定する目印に置いた。モノレールを朝と同じ位置に止め、間伐材を集める。午前中に切ったものが10本ほど残っているが、10mほど下に落ちているので、モノレールの傍まで集めるのに時間がかかった。間伐材を集め終えて下山した。間伐材はまだまだ残っているが、モノレールに近いものは少なくなつて、20m位離れた場所から運ぶ必要がある。直径30cm位の物は多く残っているが、運ぶのが困難なため現場で切る必要がある。急斜面なので、どのように固定できるか考えたい。

(記：梶野)



う回路を設定



間伐材を集める



下山

### 行動タイム

09:30 補給路登山口↓09:45 第一ベンチ下付近 11:40↓11:45 補給路登山口 14:05↓14:25 コジマハウス↓14:46 行仙宿 14:52 ↓コジマハウス 15:20↓15:30 第一ベンチ下付近↓15:05 補給路登山口